2021年度 第3四半期決算

株式会社フジクラ

2022年2月9日



目次

- 1. 2021年度第3四半期概要及び年度予想
- 2. セグメント情報
- 3. 株主還元



1

1. 2021年度第3四半期決算概要及び年度予想



2021年度第3四半期決算概要及び年度予想

	2020:	年度	2021	2021年度 (公表値11.8)	
	1-3Q	年度	1-3Q	年度 予想	年度
売上高	4,780	6,437	4,958	6,505	6,440
営業利益	173	244	279	320	300
営業利益率 (%)	3.6	3.8	5.6	4.9	4.7
持分法投資損益	2	4	18	19	14
経常利益	135	184	255	275	255
親会社株主に帰属する 当期純利益	41	▲54	262	170	150
1株当たり当期純利益(円)	14.88	▲19.50	94.97	61.68	54.43
1株当たり配当(円)	_	0.00	0.00	未定	未定
自己資本利益率(ROE)(%)	-	▲3.4	_	8.4	8.7
為替換算レート (USD/JPY)	106.11	106.11	111.14	111.00	109.00
銅べ一ス(千円/トン)	714	770	1,111	1,100	1,030



2021年度第3四半期決算概要及び年度予想

【前年同期比】

- エネルギー・情報通信事業部門は、各国のデータセンタ、FTTxに対応した需要が 引き続き高いこと等により増収増益となった。
- エレクトロニクス事業部門は、採算重視の受注戦略を進めたことにより減収となった ものの、事業構造改革効果や品種構成が良化したこと等により増益となった。
- 自動車事業部門は、新型コロナウイルス感染症による大幅な減収から回復した一方、半導体不足、新型コロナウイルス感染症拡大による一部拠点の操業度の低下及び物流費の高騰等の影響も大きく、売上高は前年同期並みにとどまり、営業損失が拡大した。

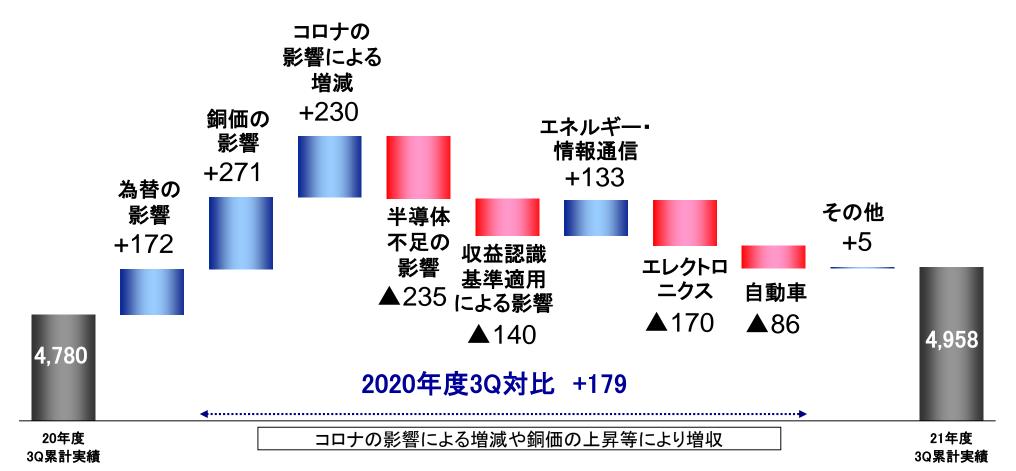
【年度予想(前回公表の業績予想対比)】

- 銅のヘッジ取引に伴う先物契約の評価損や物流費の高騰による利益影響はあるものの、データセンタ、FTTx向け需要及びエレクトロニクス事業部門における巣ごもり需要が引き続き堅調に推移することから、売上高、営業利益、経常利益は、前回予想を上回る見込み。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、今般の新型コロナウイルス感染症再拡大による損失リスクを保守的に織り込むも固定資産売却益の計上等があることから前回予想を上回る見込み。



2021年度第3四半期 売上高の増減要因(前年同期比)

売上高

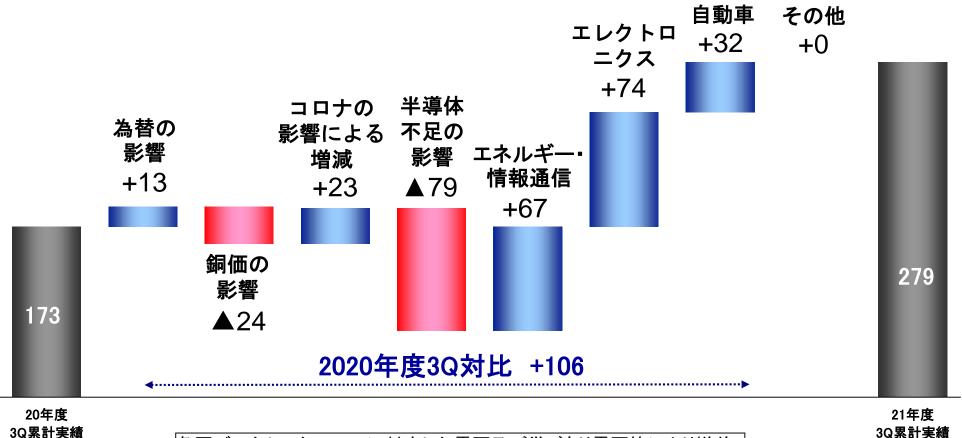




2021年度第3四半期 営業利益の増減要因(前年同期比)

営業利益

(単位:億円)



各国データセンタ、FTTxに対応した需要及び巣ごもり需要等により増益



3Q累計実績

2021年度第3四半期 特別損益及び税金項目

特別損益

(単位:億円)

	2020	2021年度	
	1-3Q	年度	1-3Q
営業利益	173	244	279
持分法投資損益	2	4	18
経常利益	135	184	255
特別利益	29	68	99
特別損失	67	240	10
税引前当期純利益	98	12	345
税金費用	46	53	75
非支配株主に帰属する 当期純利益	11	12	8
親会社株主に帰属する 当期純利益	41	▲ 54	262

関係会社株式売却益 56億円、 固定資産売却益 42億円等



B/S 主要項目(1)

(単位:億円)

	21年3月末	21年12月末	増減
〈資産〉	5,691	5,903	212
流動資産	3,174	3,518	344
現金及び預金	747	797	49
受取手形、売掛金及び契約資産	1,233	1,378	144
棚卸資産	1,005	1,158	154
固定資産	2,517	2,385	▲133
有形固定資産	1,840	1,721	▲119
無形固定資産	143	144	1
小計	1,983	1,865	▲ 118
投資その他の資産	534	520	▲ 15

エネルギー・情報通信事業部 門における需要増及び銅価 上昇による売上増加の為

主にエネルギー・情報通信 事業部門における需要増に よる棚卸資産の増加

設備投資 減価償却費 減損損失 111億円 ▲220億円 ▲4億円



B/S 主要項目(2)

	21年3月末	21年12月末	増減	
 負債純資産合計	5,691	5,903	212	
(内数 自己株式)	(▲109)	(▲106)	3	
〈負債〉	3,846	3,727	▲ 119	
支払手形及び買掛金	685	671	▲15	
有利子負債(借入金・社債)	2,419	2,369	▲ 50	NET D/E Ratio 51:49 ⇒ 45:5 Net Debt 1,672 ⇒1,572 ▲99
その他負債	742	687	▲ 55	.,
〈純資産〉	1,845	2,176	331	
株主資本	1,575	1,842	267	
(内数 自己株式)	(▲109)	(▲106)	3	
その他の包括利益累計額	54	111	58 <	為替換算調整勘定 48億円
非支配株主持分	217	223	6	401211
自己資本比率(%)	28.6	33.1	4.5	

減損による償却費の減少と事業構造改善効果

♪ ♪ ♪ . ↓	田钵从田姑		2020年度		2021年度
セグメント	累積効果額	実績	項目	見込み	項目
エネルギー・ 情報通信事業部門	32	32	【減損】 ・光ファイバ製造設備 (22億円) ・ファイバレーザ製造設備 (6億円)		
エレクトロニクス事業部門	46	6		40	【減損】 ・FPC固定資産の減損(33億円) 【事業構造改善費用】 ・国内、アジアの人件費削減(7億円)
自動車事業部門	51	40	【減損】 ・欧州ワイヤハ―ネス製造設備他 (15億円) 【事業構造改善費用】 ・欧州、アジア、北南米の人件費削減 (25億円)	11	【事業構造改善費用】 ・北米の人件費削減と東欧の事業 規模縮小
電子電装・コネクタ 事業部門	97	46		51	
その他	16	4	【事業構造改善費用】 ·本社他人件費削減 (4億円)	12	【事業構造改善費用】 · 本社他人件費削減
合計	145	82		63	



設備投資及び減価償却費

	2020	2021年度				
	1-3Q	1-30 年度				
設備投資	136	177	111			
(内製造事業)	129	170	110			
(内不動産事業)	7	7	1			
減価償却費	249	336	220			
(内製造事業)	234	316	205			
(内不動産事業)	15	20	15			

2021年度 予想 (11.8)
173
172
1
296
276
20



2. セグメント情報



セグメント別業績推移及び予想

(単位:億円)

売上高

セグメント	20年度 1−3Q	21年度 1−3Q	増減	21年度 予想
エネルギー・ 情報通信事業部門	2,255	2,586	331	3,410
エレクトロニクス 事業部門	1,532	1,362	▲ 170	1,734
自動車 事業部門	874	887	13	1,194
電子電装・コネクタ 事業部門	2,405	2,249	▲ 157	2,928
不動産 事業部門	82	82	0	109
その他	38	42	5	58
合計	4,780	4,958	179	6,505

営業利益及び営業利益率

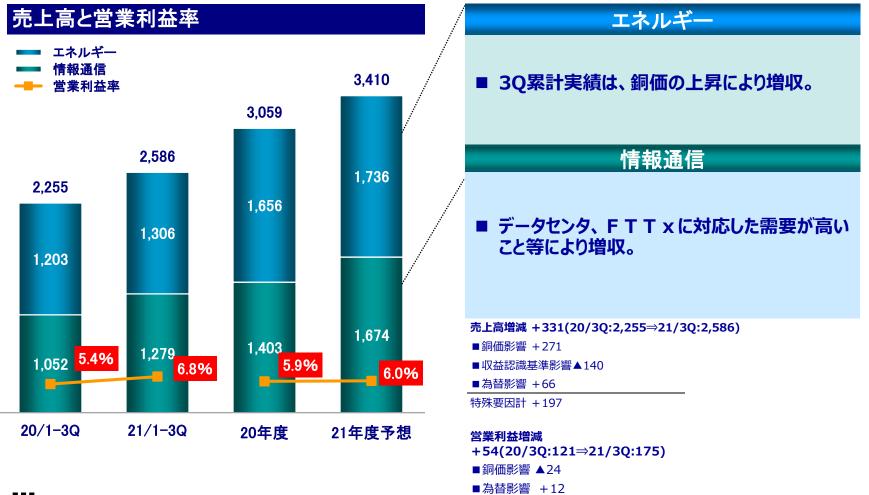
20年度 1−3Q	21年度 1−3Q	増減	21年度 予想
121	175	54	206
5.4%	6.8%	1.4%	6.0%
46	110	65	115
3.0%	8.1%	5.1%	6.6%
▲32	▲42	▲10	▲49
▲ 3.7%	▲ 4.7%	▲ 1.1%	▲ 4.1%
14	68	55	65
0.6%	3.0%	2.5%	2.2%
39	38	▲0	51
47.5%	47.1%	▲ 0.4%	47.0%
▲ 1	_2	▲2	▲3
173	279	106	320
3.6%	5.6%	2.0%	4.9%

※2021年4月1日に組織再編を行い、従来のカンパニー制から事業部門制に移行いたしました。 これにより報告セグメントの名称を変更しておりますが、報告セグメントの区分に変更はありません。



エネルギー・情報通信事業部門

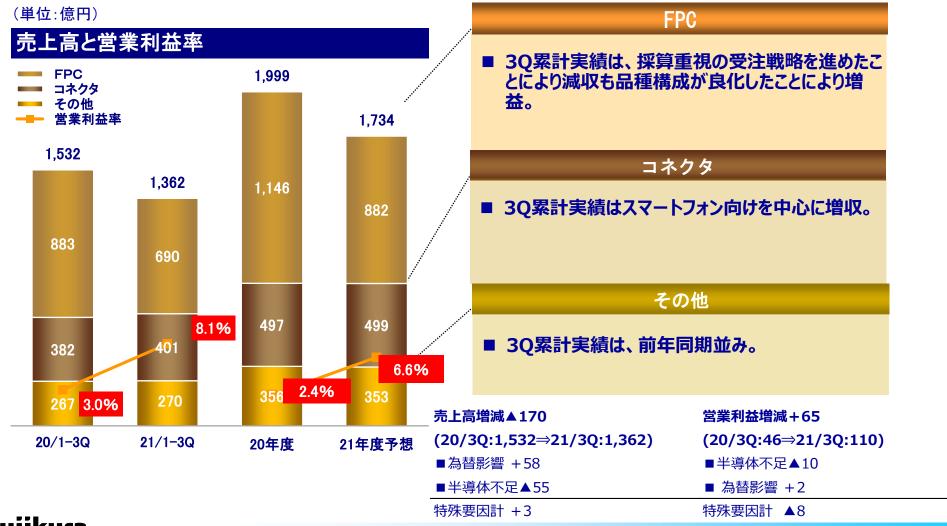
■ 21年度3Q累計実績は、データセンタ、FTTxに対応した需要が高いこと等により増益。





エレクトロニクス事業部門

■ 21年度3Q累計実績は採算重視の受注戦略を進めたことにより減収となったが、事業構造改革効果や品種構成が良化したこと等により増益。



自動車事業部門

■ 21年度3Q累計実績は新型コロナウイルス感染症による大幅な減収から回復した一方、半導体不足、新型コロナウイルス感染症拡大による一部拠点の操業度の低下及び物流費の高騰等の影響が大きく、売上高は前年同期並みにとどまり、営業損失が拡大した。

(単位:億円)

売上高と営業利益率

一 営業利益率





不動産事業部門

■ 不動産賃貸収入が引き続き収益に貢献。





3. 株主還元



株主還元

■ 2021年度期末配当予想について

期末配当は、事業構造改革の途上であるため、引き続き未定とさせていただきます。





注記:本資料は21年度におけるフジクラの経営方針(意思)をまとめています。21年度の売上・利益等については、直近 状況を織り込んだ市場判断、投入に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により 変わることがあります。

事業セグメント別 売上高・営業利益 推移

事業セグメント別 売上高 推移

不動産事業部門

その他

単位:億円

50

Δ1

300

51

Δ3

320

Δ2

134

Δ1

学来セクメント別 元上局 推移														1	
				2020	年度						2021年月	变			2021年度予想 公表値(11.8)
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	上期実績	下期予想	年度予想	年度予想
エネルギーシステム事業部	387	394	423	453	781	875	1,656	421	433	452	430	855	882	1,736	1,715
情報通信事業部門	318	373	361	351	691	712	1,403	409	428	442	395	837	837	1,674	1,651
エネルギー・情報通信事業部門	705	767	783	804	1,472	1,587	3,059	831	861	894	825	1,692	1,718	3,410	3,366
FPC	222	330	331	263	552	594	1,146	235	237	218	192	472	411	882	850
コネクタ事業部門	90	139	154	115	228	268	497	111	160	130	97	271	228	499	486
その他	81	94	92	89	175	181	356	86	89	95	83	175	177	353	343
エレクトロニクス事業部門	393	562	577	467	955	1,044	1,999	433	486	443	372	918	815	1,734	1,679
自動車事業部門	163	337	374	346	500	720	1,219	323	265	299	307	588	606	1,194	1,228
電子電装・コネクタ事業部門	556	899	951	813	1,454	1,764	3,218	756	751	742	679	1,506	1,421	2,928	2,907
不動産事業部門	27	27	28	27	54	55	109	27	27	27	27	55	54	109	109
その他	12	14	13	14	25	26	52	13	15	14	16	28	30	58	58
合計	1,299	1,706	1,775	1,658	3,005	3,432	6,437	1,627	1,654	1,677	1,546	3,281	3,224	6,505	6,440
事業セグメント別 営業利益 推	移														
エネルギー・情報通信事業部門	35	47	39	60	83	98	181	64	46	65	31	110	96	206	201
エレクトロニクス事業部門	Δ 13	31	27	3	18	31	49	21	48	42	5	68	46	115	94
自動車事業部門	△ 28	Δ9	5	Δ 5	△ 37	Δ 0	△ 37	Δ 2	Δ 18	△ 22	Δ 8	△ 19	△ 30	△ 49	Δ 45
電子電装・コネクタ事業部門	△ 41	22	32	Δ2	Δ 19	30	12	19	30	19	△ 3	49	16	65	50

84

13

26

Δ1

89

155

13

83

13

株式会社フジクラ

52

Δ0

244

13

97

11

94